

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	高校2年1～5組

使用教科書	副教材
第一学習社『現代文B』	啓隆社『現代文解法のテクニック2』 第一学習社『日本文学史必携』 いっずな書店『TOP2500』

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の様々な文章にふれ、読解力を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。 ・問題演習を通し、基礎力の充実から応用力へのステップアップを図る。
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。異なる文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手に分かるように伝えようとしているか。また、人の意見を的確に聞き取れているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書けるか。	自ら進んで授業に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。様々な文化に対する関心を深め、進んで表現しようとしているか。	語彙を増やし、知見を自分のものとしたか。また、筆者の主張を十分に理解した上で、批判的に読むことができたか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	基礎学力テスト対策	・過去問題演習等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み(態度・発言・予習) ・課題提出状況・内容 ・小テスト ・定期試験
		山月記	・主人公を鏡として、自分について振り返り、思索を深める	
		手の変幻	・指示語・対比・構成といった評論の基礎を学ぶ	
		その他	・文学史・問題集・漢字小テスト・配布した小説	
	6 7	自他の「間合い」	・筆者の柔軟な思考方法に触れ、考える楽しみを味わう	
		存在としての建築	・抽象的な言葉の意味を押さえ、その内容や背景を理解する力を養い、世界についての思考する契機とする	
2	9 10	消費社会とは何か	・具体例と筆者の意見の対応を理解し、論の展開をおいながら、現代の社会・経済について理解を深める	
		動的平衡	・二項対立を用いた論の展開を正確に捉え、科学と人間生活との関わりについて理解を深める	
		その他	・文学史・問題集・漢字小テスト・配布した小説	
	11 12	「グローバル化」の中の異文化理解	・社会的関係についての筆者の主張を把握し、それらに対する自分の意見を明確にする	
		働かないアリの意義がある	・自身の常識や意見を相対化して捉える姿勢を養い、また具体例から一般化して世界を捉える姿勢を養う	
		その他	・文学史・問題集・漢字小テスト・配布した小説	
3	1 2 3	実力テスト対策	・過去問題演習等	
		こころ	・明治の文化と精神を学ぶ	
		「集合知」という考え方	・最先端の科学の知識を現代の社会と関わらせるものの見方を理解する	
		実力テスト対策	・過去問題演習等	
		その他	・文学史・問題集・漢字小テスト・配布した小説	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。